

## 看護の現場より

看護学生のみなさんに、私たちが日々看護を実践している現場での奮闘ぶりや、看護に対する熱い思いをシリーズで紹介します。

### 美味しく・楽しく・安全に、 食事ができるようサポートします！

共立病院 病棟看護師  
中安 純子さん



### ■ はじめに

共立病院は1病棟40床の地域包括ケア病棟です。

地域包括ケア病棟は、急性期治療後の患者様や在宅・高齢者施設療養中の方々が在宅復帰に向けた効率的な医療・看護・リハビリを行うための病棟です。

また、在宅療養中の患者様に入院が必要になった時、地域の先生方から依頼を受けて支援する病棟でもあります。

私は、在宅医療・看護に興味があり当院に勤めて4年目になります。

### ■ 口腔ケアの必要性

口腔ケアとは、口の中の清潔を保つことで、さまざまな口の中のトラブルを防ぐことに加え、食べたり会話したりする機能の維持・回復、ひいては全身の健康や生活の質(QOL)の向上を目的に行なわれるケアです。

高齢になると、歯や歯肉のトラブルばかりではなく、嚥下機能の低下や唾液の減少など、口の働きのトラブルが起きます。高齢者の口のトラブルから、誤嚥性肺炎や口腔乾燥症(ドライマウス)にかかりやすくなります。そのため、口を清潔に保つことや嚙む機能や飲み込む機能に合わせた食事を

提供し、安全に美味しく食べていただく支援を目的に、当院では2019年4月に口腔ケア嚥下チーム(OST)を立ち上げ、入院早期にOSTを中心に活動を行っています。

### ■ 口腔ケア嚥下チーム(OST)での活動内容

#### ● メンバー構成

言語聴覚士(ST)・看護師・管理栄養士・ケアワーカー(介護職)



会議の様子(上)  
OHAT評価の様子(右)

#### ● 入院初日に口腔評価(OHAT)を行い、必要なケアを早期に提供する





歯科往診の様子

- 口腔ケアに必要な物品を選定し、効果的な手順を考案する



口腔ケアに必要な物品



口腔ケアの様子

- 個々の能力に合わせて、適切な食事条件や介助方法を設定する

## ■ 共立歯科との連携

毎週火曜日に歯科衛生士により入院患者様の口腔環境をアセスメントし、専門的口腔ケアの実施、口腔ケアのアドバイスなど行っています。

入院中、口腔内や義歯のトラブルなどあれば、歯科往診により専門的治療を受けられます。

入院後STにより嚥下訓練など行っても、食事中むせが多く食べられない、誤嚥性肺炎を繰り返している、水分補給が難しい患者様には、当院では最も誤嚥リスクが低い姿勢である完全側臥位で食事介助を行っています。

完全側臥位だと、嘔吐時にも誤嚥リスクが低く、体幹機能が弱い場合でも姿勢を保つことができ適切にポジショニングすると崩れにくい利点があります。



側臥位で介助

## ■ さいごに

高齢者が一生美味しく、楽しく、安全な食生活を送るために口腔ケアは介護予防の第一歩です。

一人ひとりの身体状況に応じたケアを行い、安心感を与えられるようなコミュニケーションをとることも大切です。口腔ケアをする側もされる側も、安全で気持ちのいいケアが行えるよう意識しながら介助を心がけています。